

20年間の活動と経歴（沿革と勉強会のテーマ）

- 1986年（昭和61年度）
1986.04 住宅産業経営懇話会の分科会として発足
会長に佐藤公義氏就任、会員数23社
テーマ：官民協調した街づくりの推進における開発指導要綱の運用
- 1988年（昭和63年度）
テーマ：誘導型開発指導要項の調査・研究
- 1990年（平成2年度）
テーマ：地域に密着した街づくり
1990.04 会長に若色欣爾氏就任
- 1991年（平成3年度）
テーマ：土地有効利用時代での街づくり
- 1992年（平成4年度）
テーマ：将来を見すえた街づくり
- 1993年（平成5年度）
テーマ：街づくりの誘導基準
- 1994年（平成6年度）
テーマ：ポストバブル期の街づくり、海外の住宅事情、高齢者住宅の研究
- 1995年（平成7年度）
テーマ：価格破壊時代の街づくり、住宅づくりの付加価値とは
- 1996年（平成8年度）
テーマ：安全で快適な街づくり
1996.05.17 創立10周年記念定例会 ゲスト：福島県三春町長 伊藤寛氏
- 1997年（平成9年度）
テーマ：21世紀の街づくり
- 1998年（平成10年度）
テーマ：制度疲労による時代変革期に対応した持続可能な街づくり
- 1999年（平成11年度）
1999.06.25 住宅産業懇話会より独立、新組織になり会則を変更
- 2000年（平成12年度）
テーマ：21世紀の住まい
- 2001年（平成13年度）
テーマ：越谷市の魅力をさがそう
2001.01 「15年のあゆみ」発行
- 2002年（平成14年度）
テーマ：元気の出る不動産・住宅産業の創造
地域経済の活性化における、不動産業及び住宅産業の役割
- 2003年（平成15年度）
テーマ：サステイナブルハウジング（Sustainable Housing）を目指して
－安心して住み続けられるまちを新しい価値観から考える－
- 2004年（平成16年度）
テーマ：環境共生都市（エコシティ）の実現を目指して
－越谷市を環境モデル都市にするために、官・民は協調して何をすべきか？－
- 2005年（平成17年度）
テーマ：環境共生都市（エコシティ）の実現を目指してⅡ
－越谷市を環境モデル都市にするために、官・民は協調して何をすべきか？－
- 2006年（平成18年度）
テーマ：景観や住環境に配慮した美しい街づくりにおける業界の役割
2007.04 創立20周年 記念誌発行

最近の活動内容（平成13年度～平成18年度）

■■■■■■■■■■ 平成13年度（2001.04.01～2002.03.31） ■■■■■■■■■■

◆平成13年活動方針

21世紀の幕開けの年に際し、まちづくりの原点に戻り、越谷市の魅力とは何であるかをもう一度確認し、今後の新たな目標を作っていきたいと考える。越谷市の魅力を考えるうえで、もう一度わが町の歴史・風土・自然等を見直し、見失っていた魅力を再発見する作業と、これをさらに新たな魅力へと創り上げ、昇華させることが必要である。今年度は最初の過程である、越谷市の魅力さがしを中心に活動していきたい。

◆年間テーマ 「越谷の魅力をさがそう」

◆定例会

H13.04.20 第14回定期総会 於：大花亭

H13.05.18 時局講演「日本経済と住宅政策」小泉新政権の構造改革と今後の住宅産業への影響
講師：不動産経済研究所 飯田氏

H13.06.08 歴史に学ぶまちづくり（江戸の都市計画） 講師：千葉大学教授 玉井哲雄氏

H13.07.27 住民参加のまちづくり 講師：(株)中央住宅ランドプランナー 高山登氏

H13.08.31 レイクタウンのまちづくり

講師：越谷市都市整備部次長（兼）都市整備推進課長 我妻三夫氏

H13.10.05 越谷市の観光資源について 講師：越谷市環境経済部 大島部長

H13.10.26 自転車と街づくり 講師：自転車愛好家 前田良祐氏

H13.11.27 越谷の魅力について フリーターキング

H13.12.20 平成14年の分譲住宅の展望

講師：(株)リクルート週間住宅情報編集長 菊地修一氏

H14.01.25 越谷市について何でも聞こう 関根部長を囲んで

講師：越谷市総務部長 関根勤氏

H14.02.22 越谷市開発指導要綱の条例化について

講師：越谷市都市整備部開発指導課 岩瀬課長、山崎補佐

H14.03.15 今年度の反省と来年度の事業計画 フリーターキング

予備企画 1. 日本人のアイデンティティー 2. 雨水利用のまちづくり 3. 黄昏時代の楽しみ
4. 自立都市と広域行政

◆住まいの情報館フェアへの参加 グリーンキャンペーン「苗木のプレゼント」

◆平成13年度埼玉都市づくりアカデミー地域リーダー養成コース受講生推薦

■■■■■■■■■■ 平成14年度（2002.04.01～2003.03.31） ■■■■■■■■■■

◆平成14年活動方針

昨年度のテーマ「越谷の魅力をさがそう」から見えてきたものを抽出し、具体的なものに整理していきたい。さらに、最近、防災や防犯に対する関心の高まりから、従来、安全に生活することはあたりまえであり無償であったが、安全にはコストがかかることが認識されてきている。当会としても「安全な住まい」という視点から、生命を守る住まい、安心して住み続けることができるまちとは何かを、研究していきたい。これらの作業を通し、地域に必要とされる不動産業・住宅産業のあり方を探り出し、地域経済の起爆剤としたい。

- H15.11.18～19 特別研修会「高齢者社会における”すまいと収入”の安心しくみ」
 於：川治温泉蘭綾
 日本型リバースモーゲージの可能性 講師：若色会長
- H15.12.16 まちのデザインと景観行政 講師：越谷市都市整備部都市計画課 竹内課長
- H16.01.16 コンバージョンによる都市再生 建物のリノベーション事業 於：つきじ植むら
- H16.02.21 ユニバーサルデザインを考える バリアフリーからノーマライゼーションへ
 講師：東京大学大学院 助教授農学博士 安藤直人氏

■■■■■■■■■■ 平成16年度(2004.04.01～2005.03.31) ■■■■■■■■■■

◆平成16年度活動方針

昨年は年間テーマ「サスティナブルハウジング(Sustainable Housing)を目指して」サブタイトル「安心して住み続けられるまちを新しい価値観から考える」を進めてきたが、今年度はやや抽象的だった昨年のテーマから一歩踏み込んで具体的に考えていきたい。

当会の性格上、不動産開発・住宅建設関連に絞ってみるとやはり環境問題から街づくりを考えていくことがベストである、と考え今年度は環境問題を多角的に捉え勉強していきたい。

◆年間テーマ

環境共生都市(エコシティ)の実現を目指して(官・民・各々の立場で何が出来るか?)

◆定例会

- H16.04.23 第17回定期総会 於：つきじ植むら
- H16.05.21 越谷市環境管理計画及越谷市環境条例を学ぶ
 講師：越谷市環境経済部 深井副参事
- H16.06.25 越谷市まちの整備に関する条例の技術水準と運用状況について
 講師：越谷市都市整備部開発指導課 辻課長
- H16.07.09 越谷市のゴミ分別回収の現状 講師：越谷市環境経済部環境資源課 松枝課長
- H16.08.27 平成16年度土地住宅税制改正のポイントについて 講師：行政書士 竹内啓修氏
- H16.09.24 最新のプレカット工場の現状 於：(株)中央住宅プレカット新工場(茨城県岩井市)
- H16.10.15 ゼロエミッション・循環社会ビジョンと道すじ
 講師：NPO法人環境文明21代表 加藤三郎氏
- H16.11.09～10 特別研修会「日本の森を考える」於：鬼怒川温泉 鬼怒川観光ホテル別館
- H16.12.17 THE エクステリア・ウッド
 講師：東京大学大学院 農学生命科学研究科助教授農学博士 信田聡氏
- H17.01.28 ベトナムにおける住宅環境について 講師：(株)マルヨシ代表取締役 小山哲央氏
- H17.02.18 スローライフの街づくり 講師：ポラス暮し科学研究所 デザイングループ顧問 伊藤博明氏
- H17.03.28 新不動産登記法の重要点 講師：行政書士 竹内啓修氏

■■■■■■■■■■ 平成17年度(2005.04.01～2006.03.31) ■■■■■■■■■■

◆平成17年度活動方針

昨年は年間テーマ「環境共生都市(エコシティ)の実現を目指して」を掲げ、広く環境問題を中心に勉強してきたが、今年度も引き続き環境問題から街づくりを考えていき、当会としての提言をまとめていきたい。さらに(仮)越谷市住環境推進事業所の制度づくりを検討するため、同策定委員会を設立したいと考えている。またあわせて、来年は当会の創立20周年に当たり、記念事業を検討していきたい。

◆年間テーマ

環境共生都市（エコシティ）の実現を目指してⅡ

ー越谷市を環境モデル都市にするために、官・民は協調して何をすべきか？ー

◆定例会

H17.04.22 第18回定期総会

歴史的景観を保存した街づくり 講師：NPO街づくり会社・白壁理事長 高松裕氏

H17.05.20 新潟中越地震の被害状況

講師：埼玉県都市整備部住宅課建築・借上担当主査 森田義孝氏

H17.06.07 ①不動産の証券化について 講師：武蔵野銀行法人部 田邊克彦氏

②今、求められる中心市街地活性化の視点

講師：ぶぎん地域経済研究所調査事業部次長 松本博之氏

H17.07.22 越谷市 まちの整備に関する条例の運用と現状

講師：越谷市都市整備部開発指導課長 辻敬氏

H17.08.19 美しい景観のまちづくりを目指して

講師：埼玉県県土づくり企画室景観・街づくり推進担当主査 大森享氏

H17.09.16 住環境に配慮した街と住まい エコロジー&コミュニティ

於：(株)博進 新築分譲住宅棟「せんげん台・彩の路」

H17.10.17 世界最大級の球面バーチャルリアリティ・サイバードーム（環境計画支援施設）の見学

於：ナショナルセンター東京 松下電工(株)・汐留ショールーム

越谷市住環境推進事業所の制度づくり中間報告

H17.11.08～09 特別研修会「森林ツアー」日本の森を考える 於：和歌山県田辺市

(株)山長商店の山林及び工場見学

H17.12.15 市民活動を活性化する地域通貨（人と地域を元気にする魔法のお金）

講師：ぶぎん地域経済研究所 小池清一氏

H18.01.20 創立20周年記念事業に向けてのフリートーキング

H18.02.17 野外広告物条例について 講師：越谷市都市整備部建築住宅課長 高橋憲治氏

H18.03.10 創立20周年記念事業及び平成18年度事業計画 フリートーキング

■■■■■■■■■■ 平成18年度（2006.04.01～2007.03.31） ■■■■■■■■■■

◆平成18年度活動方針

当会は創立20周年を節目に、これからの10年を第3期と位置づけ、新たな活動に挑戦していきたいと考える。このためには、さらに活動内容をレベルアップし、成果として残す時期としたい。また越谷市の住環境に関する価値を高め、住宅地としてイメージアップに貢献することを目標とする。

越谷市はレイクタウンを代表とする区画整理事業を中心とした街づくりが完成する時期にきており、名実とも埼玉県東南部における、中心都市として評価してもらえるためには、景観や住環境に配慮した街づくりを推進する必要がある。

そのために、定例会の内容を勉強会から脱皮し、街づくり施策を提案する活動に移行していきたいと考える。

◆年間テーマ

景観や住環境に配慮した美しい街づくりにおける業界の役割

◆事業内容

景観や住環境に配慮した美しい街づくりに関するガイドラインを作成する。

越谷市と協力して（仮）越谷市美しい街づくり宣言の実施とこの認定制度を創設する。

◆組織強化

①会員の拡充 ②組織の法人化を目指す ③定例会の議事録を作成する。(司会と書記を担当制とする)

◆活動手法

1. 埼玉県の県政出前講座を積極的に活用する
2. 埼玉県景観アドバイザーの派遣依頼
3. 街づくり相談会の開催

◆定例会の年間構成

総会(4月)1回、埼玉県の県政出前講座5回、越谷市職員の講演2回、懇親旅行(11月)1回、親睦会(新年会)1回、見学会1回、内部フリートーキング1回

◆定例会

- H18.04.20 第19回定期総会 於：越谷市中央市民会館5階特別会議室
特別講演会「越谷市の景観について」講師：越谷市助役 関根勤氏
- H18.05.18 街づくりにおけるNPOの可能性と街づくり団体の課題(組織・運営・資金調達)
講師：都市づくりNPOさいたま 若林祥文氏
- H18.06.09 環境共生住宅の現場と木造新構造物の見学会
①(株)中央住宅 ボウヴィラージュ美園
②ポラス暮らし科学研究所 パルテノン・ジャイアントプレス等
- H18.07.14 景観に配慮した街づくり 三軒協定やガイドラインによる街づくりの実績と課題
講師：戸田市都市整備部副参事 市村眞氏
- H18.08.25 地区計画による街づくり(越谷市地区計画の実績と今後の課題)
講師：越谷市都市整備部都市計画課副参事兼課長 石崎信氏
- H18.09.08 環境共生住宅について(環境共生住宅のガイドライン策定について)
講師：(株)岩村アトリエ 三井所清史氏
- H18.10.13 埼玉県景観アクションプラン(景観法に対する埼玉県の取り組み)
講師：埼玉県県土整備部県土づくり企画室副室長 古里実氏
同 景観・まちづくり推進室担当主査 志村宏氏
- H18.11.14 先進事例の現地視察(美しいまちなみを歩く)
講師：日野市まちづくり部まちづくり課 課長補佐 金子峰男氏
現地見学：フォレストエージ高幡鹿島台・高幡鹿島台ガーデン54
- H18.12.15 懇親会・フリートーキング 於：すけ田楽
- H19.01.12 越谷市・美しい街づくりガイドラインにむけて(流域管理・流域経営の発想から)
講師：芝浦工業大学 システム工学部環境システム学科教授 松下潤氏
- H19.02.09 建築協定の街づくり(建築協定制度の普及と運営委員会へのサポート)
講師：越谷市都市整備部建築住宅課長 竹内輝明氏
- H19.03.23 ①特別講演「不動産・住宅産業の展望と協調会の役割」住まい方が多様化する時代に
講師：(株)ガイア住環境技術研究所 若色欣爾氏
②来年度事業計画についてのフリートーキング

◆創立20周年記念誌の作成

越谷市街づくり協調会 第3期長期計画案 (2007～2016)

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	前期					後期				
・活動目標										
美しい景観をさがす運動										
美しい景観に関する共通認識の確立										
美しい景観の普及啓蒙										
美しい景観標語募集										
美しい景観の表彰										
・街づくりガイドラインの策定										
街の緑化										
街のデザイン・色彩										
街の美化・屋外広告										
環境共生の街づくり										
建築協定による街づくり										
景観評価委員会の設置										
シティアーキテクト制度の導入										
・計画的な勉強会										
10年後の家族と住まい方										
建売住宅産業の将来像										
賃貸住宅の可能性										
ライフサポートハウジング										
オルタナティブハイジング（第三の住まい）										
コレクティブハウジング										
リバースモーゲージ										
住民参加の街づくり（住民組合）										
住居住みかえ支援機構（JIT）による住宅借り上げ制度										
コモンのある街づくり										
住まいのエネルギー										
・計画的な見学会										
住宅建設技術、最新設備										
モデル都市の見学										
・法令制度										
都市計画法										
景観緑三法										
建築基準法										
住生活基本法										
越谷市総合振興計画										
越谷市都市マスタープラン										
越谷市まちの整備に関する条例										
不動産、建築にかかる税制										
・行政への提案										
越谷市建築協定運営委員会連絡協議会の設立										
越谷市建築景観賞に代わる街なみ表彰制度の提案										
街の電柱対策（目立たない工夫）越谷方式の開発										
屋外広告物の自主規制										
住民参加型街づくり制度										
・事業										
区画整理地でのセミナー										
公有地の有効利用										
公共施設のリノベーション										
・組織										
NPO法人化										
景観法による景観整備機構の認定										
まちづくり会社										
・越谷市総合振興計画										
レイクタウンまち開き										
越谷駅東口再開発まち開き										

※越谷市は平成20年11月に市制施行50周年を迎えます。